

戸田市児童福祉審議会議事録

会議の名称	令和元年度第3回戸田市児童福祉審議会
開催日時	令和元年9月27日（金） 午後2時～午後3時30分
開催場所	市役所7階 第5委員会室
会長等氏名	会長 中村 信成 副会長 永塚 博之
出席者氏名 （委員）	永塚 博之 武内 利行 吉川 博文 中村 信成 日山 秀利 中野 康子 岩元 貴博 澁川 悦子 田所 雅人 山口 百百 榎本 潤一 皆上 千里 手島 真由
欠席者氏名 （委員）	石井 剛
事務局	松山部長 梶山参事 石橋課長 太田課長 中沢課長 岩崎課長 大原主幹 御嶽主幹 馬場主幹 金子主事 高畑主事
議 題	(1) 第二期戸田市子ども・子育て支援事業計画の第2稿について (2) 保育施設の利用定員の設定・変更について (3) 待機児童緊急対策アクションプランの進捗状況報告について (4) その他
会議結果	1 議題1 原案、承認 2 議題2 原案、承認 3 議題3 原案、承認
会議経過	別添のとおり
会議資料	令和元年度第3回戸田市児童福祉審議会会議次第 1 第二期戸田市子ども・子育て支援事業計画第2稿 2-1 令和2年4月新設保育施設一覧 2-2 子ども・子育て支援新制度利用定員一覧（案） 3 待機児童緊急対策アクションプラン3か年の成果報告 4-1 幼児教育・保育無償化案内チラシ 4-2 こども医療費助成対象拡大案内チラシ 4-3 多子世帯応援クーポン事業案内チラシ
議事録確定	令和元年12月13日 会長 中村 信成

R1.9・27 児童福祉審議会 議事録

発言者	発言・議題内容・決定事項
事務局	<p>【 開会 】</p>
会長	<p>～会長あいさつ～</p>
事務局	<p>【 資料及び出席委員の確認 】</p> <p>本日出席されている委員は13名であり、全委員の過半数を超えておりますので、戸田市児童福祉審議会条例 第6条 第2項の規定により、本会議は成立していることをご報告いたします。</p>
事務局	<p>【 議事 】</p> <p>それでは、次に、議事に進みたいと思います。</p> <p>条例第4条の規定により、会長は、会務を総理するとありますので、ここからの議事進行を会長にお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、会長、よろしくお願いたします。</p>
会長	<p>【 議事 】</p> <p>それでは、議長を務めさせていただきます会長の中村です。よろしくお願いたします。</p>
	<p>では、議題（1）について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、議題（1）第二期戸田市子ども・子育て支援事業計画の第2稿について説明します（資料をもとに説明）。</p>
会長	<p>事務局から説明が終わりましたので、何かご質問等ございますか。</p>
委員	<p>16・17 ページを見ると、児童の人数や働き方の変化という背景もあるのだと思いますが、保育所の入所児童数が増えて幼稚園の入園児童数が減ってきています。これに対して、保育所の数を今まで増やし、幼稚園の預かり保育の拡充もしていますが、今後どういった形で保育所・幼稚園に対する施策を考えていくのかについて教えていただきたいということが一点目。</p> <p>次に、38 ページの保護者からのアンケートについて、子育てに関する満足度というのがありまして、児童手当やこども医療費助成などの金銭的な支援に対しては、満足や—まあ満足という形で肯定的な意見が50%を超えています。これに対して、一時保育や病児・病後児保育、</p>

事務局	<p>不安や悩みを聞いてもらえる相談の場などでは、肯定的な意見が20%と低くなっていて、あまり肯定的に思われていません。この肯定的に思われていないところへの対処については今後どのように考えていますか。</p> <p>まず一点目、ご質問にございましたようにここ数年は、保育所の入所需要が高まり、それにあわせて待機児童が増えておりまして、主に児童の受け入れ、数の拡大ということでここ数年、計画を立ててきた経過がございます。つまり一方で幼稚園の入園児数につきましては、幼稚園より保育所を利用される方が多く、幼稚園の入園児数が減ってきている状況がございます。</p> <p>本市におきましては、子育て世代の方が多いまちということ、全国的に少子高齢化の傾向がある中でも、子どもの人数は他市と比べても多い状況でありましたが、今後は出生数あるいは人口等も、このまま同じように伸びていくという見込みが難しい状況でございます。そういった中で、今までのような受け入れ施設を増やすことよりは、相談や保育所の利用だけではない一時保育や病児・病後児保育等様々な保育サービスのニーズもございますので、利用のしやすさや満足度、そういったことも総合的に考えていかななくてはいけないと考えております。</p> <p>二点目の部分ですが、制度自体の受け皿はあるわけですが、受け皿がある中で、知らない・使い方が分からない、またご意見でよくあるのが申請の仕方がちょっと面倒など、使い勝手の部分で少し否定的な意見になっているような部分も感じられますので、やはり一つはこういう制度があるということを周知するという広報活動は非常に大切だと思っています。あわせて使い勝手につきましては、例えば申請の方法を少し柔軟化するなど、多少なりとも使い勝手が良くなれば、否定的な評価から、多少肯定的な評価になるのではないかと期待を持っていますので、市としても柔軟に対応してまいりたいと思います。</p>
会長	<p>他にご質問はありますか。</p>
委員	<p>児童虐待防止に向けた相談体制及び専門性の強化の課題について、自治体によっては福祉専門職の採用といったこともあります。そういったお考えはありますか。また、南児童相談所管内では、川口市や蕨市も対象になっていますが、最近外国籍のお子さんの虐待通告なども多くなっていますので、戸田市の状況や、今後そのようなお子さんたち、保護者に対して、どのような考えでいるのかについて、聞かせていただきたいと思っています。</p>

事務局	<p>まず人員体制でございますが、人事的な配置でございますので総務部と今後調整・要望していくということにはなりますが、まずは研修等を積極的に図りながら、専門性を高めていくということを目指してまいりたいと考えております。</p> <p>また、外国籍への方への対応ですが、おっしゃる通り外国籍の児童・保護者の転入等も多くございます。文化的な習慣や生活習慣が異なることによって戸惑いや不安などもございますので、丁寧に相談には対応してまいりたいと考えております。また言葉の問題等に対しましては、国際交流協会など、他の団体とも連携を図りながら円滑に対応してまいりたいと考えております。</p>
会長	<p>他にご質問はありますか。</p>
委員	<p>先ほど回答の中で、広報活動が重要というお話があったので一点ご提案をさせていただきます。子育てコーディネーターの方などいらっしゃると思いますが、ぜひ SNS を活用して情報発信をしてはいかがかと思います。</p> <p>そういったところで、例えば使い慣れてない保育サービス、病児保育であれば、戸田中央総合病院の中にありますが、建物がいくつもあって、どの建物の中に病児保育が入っていて、入り口はどこということからつまずくわけです。そういうことを写真とともに出していただいたり、子育て広場のようなイベントがあるときに、前日や当日に、今日・明日やりますということをリマインドしてくれば行きやすかったりする部分もあります。検討いただけたらと思います。</p>
会長	<p>ご意見ということで伺います。他にご質問はありますか。</p>
委員	<p>81 ページの（１）子育て・生活の支援について、専門的な相談支援の情報提供及び連携で、DV 相談の担当課が福祉保健センターとなっています。私ども保健所でも専門相談等を受けて保健センターの保健師と一緒に活動しますが、他地域では、DV 相談は市民活動の担当課や児童福祉課などでやっていて、そういうところに対応すると手続き、住民票の閲覧制限や、転居のあり方などは行政職員が行い、子育て相談やお母さんのメンタルケアのところを保健師が行うというように、庁内でも連携してできるという利点があります。ただここで保健センターがその両方を担うというのは、他地域での経験を踏まえると課題にも感じました。この計画自体はこれで異論はないのですが、やはり専門的な相談への枠組みという点では検討していただきたいと思っております。</p> <p>また、私も家庭訪問で色々な地域に行きますが、やはり新しい保育</p>

	<p>所にすごく親切なところがいくつかあって、子供たちの笑顔が見られたりすると、戸田のお子さんが安心して保育を受けられていて、この3年ですごく変わったなという印象はあります。その辺りがこの政策に現れている点では、現在、子育てしやすい、みんなが住みやすいまちということが PR できる環境になった点についてきちんと評価していいのではないかと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>他にご質問はありますか。</p>
<p>委員</p>	<p>43 ページについて、第一期計画の振り返りで（１）子ども本位の教育・保育事業とありますが、統合保育実施園の拡大（7園増）と書いてあります。統合保育実施園とはどういうものなのか教えてください。</p> <p>次に、（２）多様化する保育ニーズへの対応において、幼稚園の預かり保育への市独自補助の実施と書いてありますが、これは具体的にどういうことを指しているのか、教えていただければと思います。</p> <p>最後に、（３）接続可能なサービス供給体制の確保において、定期保育事業による1歳児の受入れ人数の拡大とありますが、定期保育事業とはどういうものなのか教えてください。</p>
<p>事務局</p>	<p>まず、43 ページの第一期計画の振り返り（１）子ども本位の教育・保育事業の統合保育実施園の拡大につきましては、取り組みの中に上段にございます③発達障がいを含む特別支援の充実という中で、発達障害等により特別に配慮が必要なお子さまを預かる場合につきましては、通常の保育を実施しているお子さまとの統合保育の実施や、特別支援研修の実施を行ったという取り組みの内容でございます。</p> <p>次に（２）多様化する保育ニーズへの対応において、幼稚園の預かり保育への市独自補助の実施につきましては、教育時間以外の預かり保育を長時間実施する園に市独自で補助を実施しております。現在市内の幼稚園では2園へ補助を実施しております。</p> <p>最後に（３）接続可能なサービス供給体制の確保における、定期保育事業による1歳児の受け入れ人数の拡大でございますが、新設保育所では、低年齢児のお子さまの需要が多いのですが、逆に4歳・5歳クラスの年齢児の新規申し込みが少なくなる傾向がございます。そういった入所が少ない4歳・5歳クラスのお子さまのクラスのスペースを活用しまして、保育需要の高い1歳・2歳クラスに入所を希望されるお子さまについて、保育期間を限定して行う保育でございます。この事業につきましては、新設保育所と協議をしまして、定期保育というものを実施しております。</p> <p>現在、今年度・昨年度に開設した保育所の合計5園で実施している状況でございます。</p>

会長	<p>何かご質問等ございますか。なければ第2部各論に移らせていただきますが、よろしいでしょうか。</p> <p>では、第2部各論について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、引き続き第2部各論の第1章、子ども・子育て支援事業の充実について説明します（資料をもとに説明）。</p>
会長	<p>事務局から説明が終わりましたので、何かご質問等ございますか。</p>
委員	<p>戸田市でどのような支援を受けられるのか分かりませんというようなことを言っただけのご家庭はいいのですが、親子ふれあい広場などに来ない、来られない、そもそもそのようなところにアクセスするという発想がなかった方については、どうなっているのか不安に思っております。色々な悩みを抱えている親御さんを見ることが多いので、そのような方についてはどうされているのでしょうか</p>
事務局	<p>乳児家庭全戸訪問事業の後に、福祉保健センターを中心に乳児の健診がございます。4か月児健診に始まりまして1歳児健診、1歳8か月児・3歳6か月児などの健診がございますので、そういった健診の機会等も活用しながら、その中で心配のあるご家庭等については、福祉保健センターなどとも連携を図りながら相談に繋げ、支援をしてみたいと考えております。</p>
委員	<p>健診という機会も、もちろんあっていいと思いますが、大勢いる中で相談をしづらい、待ち時間も長いということもあるので難しい部分もあると思います。もう少し地域で気軽に相談できるような窓口があると、相談しやすいのではないのでしょうか。こんなこと相談していいのかしらというような身近な悩みから色々出てくるので、生後4ヶ月までのお子さん以外でも転入された方など、何かケアする方法はないのでしょうか。</p>
事務局	<p>転入に際しましては、市民課等手続きの際に転入の方向けに資料の配付をさせていただいております。また、身近な相談につきましては、子育て支援センターや戸田公園駅前子育て広場等の地域子育て支援拠点でも実施しておりますので、積極的に周知を図ってまいりたいと思っております。</p>
会長	<p>他にご質問はありますか。</p>

委員	施設型給付費とはどのような制度なのか、教えていただけますか。
事務局	基本的には各施設に払う給付等につきましては国で定められたものがございますので、そういったものの費用につきましては、その基準をもとにお支払いしています。制度の中では、保育園等の施設に対する施設型給付費という名称のものと、地域型保育給付ということで名称が異なりますが、やはり国の同じ基準に基づきまして、小規模保育施設等に給付している制度になります。
会長	他にご質問はありますか。
委員	待機児童について、平成30年度の段階で49名いるようです。この計画では十分確保ができていますと思いますが、もう来年度から待機児童ゼロという認識でよいのでしょうか。
事務局	待機児童につきましては、皆様のご協力をいただきまして確かに減少している状況でございます。今年度4月1日現在では、4名ということで、待機児童は減少しています。 また詳細につきましては、恐れ入りますがまた別の議題で上げさせていただいておりますので、そちらで詳しくご説明したいと思います。
会長	他にご質問はありますか。
委員	今の質問に関連して、待機児童ゼロに本当になるのかというのが少し疑問としてあります。先ほど新設園で4歳・5歳児の枠があるから期間限定で0歳や1歳を受け入れるという話がありました。ただ、その方は期間限定なので、その次にあぶれることになりませんか。
事務局	先ほどご説明いたしました定期保育につきましては、詳細について説明不足の部分がございました。対象の方につきましては、保育所に入所を申し込みされて保留、つまり、入所の待機をされている方を対象としまして、保護者のご希望も聞きながら、定期保育ということで1歳児及び2歳児クラスのお子さまを受け入れております。 また、定期保育を利用しているお子さまは、先ほど申しましたように保育所入所が保留になっている状況でございますので、ご希望のあった園に空きが出ましたら、そちらの入所のご案内をさせていただいております。 さらに、新年度につきましては、現在1歳児クラスで定期保育を利用されている方はそのまま希望されるかあるいは、また新たに新規の申し込み等をご案内して、保育所の入所のご希望を申請していただい

<p>会長</p>	<p>ております。</p> <p>他にご質問はありますか。</p>
<p>委員</p>	<p>58 ページの地域子育て支援拠点事業について、こちらのスタッフがどのような資格を持っているのかを教えてください。また、地域子育て支援拠点事業が知れ渡っていないのではないかと思います。例えば、こども 110 番のような関連事業に相談に行けるような政策が取れたらいいのではないかと思います。</p> <p>まず、配置したスタッフの資格と何か新しい事業の企画があるのか、また、このままでこれ以上増やさないのかについて教えていただけますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>地域子育て支援拠点にいる職員の資格でございますが、保育士や子育て支援員の資格をお持ちの方が主に子育てアドバイザーということで、各拠点にて勤務いただいております。</p> <p>また、今後の新規の広場等の拠点ということですが、現在、具体的なものはございません。そして、事業の周知につきましては、積極的に行ってまいりたいと考えております。</p>
<p>委員</p>	<p>DV など傷ついているお母さんや子どもたちに対しては、やはり専門家でないと対応できないことが多々あるので、臨床心理士や精神保健福祉士、社会福祉士の資格を持ったスタッフを配属していただければと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>他にご質問はありますか。よろしいでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは、続きまして、議題（1）第二期戸田市子ども・子育て支援事業計画の第 2 稿について、第 2 部各論の第 2 章以降を説明します（資料をもとに説明）。</p>
<p>会長</p>	<p>事務局から説明が終わりましたので、何かご質問等ございますか。</p>
<p>委員</p>	<p>70 ページの市民の声のところで、「発達がゆっくりな子の小・中学校選びについて、早めに一度説明会や相談をお願いしたいです。個別ではなく概要などを年少年中の親対象にやっていただけると、今後が見通せて親として安心です。」と書いてあります。これはすごく大事なことなので、やっていただきたいです。また、小学校では、保護者の方がやはり普通学級がいいということで、そういう子たちがクラスに何人も入って大変だというような実情もあります。</p>

	<p>親御さんに発達障がいというものはどういうものなのか、しっかりと教えてあげてほしいです。特別支援学級に入るということが恥ずかしいことでもないし、子どもにとって大切なことを講演会のような場で専門の方に話していただいて、正しい知識をお母さんたちに与えていただければ、悩むことも不安になることも、それから子どもにとってどこの部署が一番いいのかということも見極めがつくと思いますので、ぜひやってもらいたいです。</p> <p>それから周知方法について、保存版のような形で、DV だったらどこ、それから発達障がいのことだったらどこに相談できますという電話帳のようなものを作ってもらいたいです。そうすると、その1冊を見れば自分が一番困っていることについて、どこに電話して相談すればいいのか分かります。ホームページを見られない人もいるので、そういうものが配られると、子育て相談とか、引きこもりとかについてはこの電話窓口があるということがわかります。電話は比較的手軽だと思います。例えば、こども家庭課に行ってくださいと言われると、やはり二の足を踏むところもあるかと思います。電話だと自分の顔が見えないし、色々なことを正直に話せる。そして、次の段階で面談に結び付けられます。第1段階として、電話窓口を作ればいいのではないかと思いました。</p> <p>また、市役所や児童相談所、警察というような関係機関の連携を密にさせていただいて、そこですくい上げるようなシステムが、戸田にできればいいと思いました。</p>
会長	<p>今の件は、要望ということでよろしいでしょうか。</p>
	<p>他にご質問はありますか。</p>
委員	<p>74 ページの母子保健の推進における、(1) 妊娠・出産の支援について、望まない妊娠や、性的虐待で妊娠してしまったというような、特別な事情のある妊婦さんに対するの支援というのは戸田市にはあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>福祉保健センターの中に母子保健部門ということで、そちらの部門は生まれて以後のことだけではなく、母体の健康についても対応しておりますので、そのような相談を受けております。具体的な内容によっては、県の専門家のところにご紹介するようなことはありますけれども、基本的には様々な妊娠に関わる相談は、福祉保健センターで受けられるようになっております。</p>
会長	<p>他にご質問はありますか。</p>

委員	<p>今のお話に補足すると、埼玉県では昨年度妊娠SOSという相談窓口が開設されまして、こちらは全県でやっております。匿名でのメール相談も受け付けております。付き添いでの受診というのも専門のスタッフに委託をしています。</p> <p>昨年度は、高校の夏休みの頃に合わせてカードを配布することによって、電話をかけてもらうということの効果はあったのではないかとというのが評価の一つでありました。</p> <p>また、妊娠SOSの実績報告かつ研修会というのを行いまして、県と市が協力してさらに産婦人科の助産師さんたちも参加した研修会となっておりますので、全県的な取り組みとなっているかと思えます。</p>
委員	<p>今の委員の発言に関連して、福祉保健センターでの妊婦さんの講習会のときに、初めての妊娠では不安なこともいっぱいあると思いますので、子どもが泣くのは病気ではないとか、基本的な子育ての、本来ならば親御さんたちから受け継ぐようなことを教えてあげてほしいと思います。また、双子や三つ子などの多子が生まれたらこういうところもありますよというような情報、予備知識をぜひ妊婦さんたちに教えてあげていただきたいです。</p>
会長	<p>他にご質問はありますか。よろしいでしょうか</p> <p>第2部各論の第3章以降の説明を事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>続きまして、第2部各論の第3章について説明します（資料をもとに説明）。</p>
事務局	<p>引き続き、第2部各論の第4章及び第5章について説明します（資料をもとに説明）。</p>
会長	<p>ご質問はありますか。よろしいでしょうか。</p> <p>なければ議題（1）については、終了したいと思います。</p> <p>では、議題（2）について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、議題（2）保育施設の利用定員の設定・変更について説明します（資料をもとに説明）。</p>
会長	<p>事務局から説明が終わりましたので、何かご質問等ございますか。</p>
委員	<p>新設園の場所についてですが、戸田公園駅のロータリーに隣接している場所にあります。戸田公園駅の東口側からの高架下をくぐってくるとなると横断歩道がありません。大型バスがたくさん通ります。し</p>

事務局	<p>かもその隣は進学塾で、たくさんの保護者が送り迎えに行きます。そういった中で、どう安全面を確保するのでしょうか。交差点なので、車で来るには止まれないですし、渋滞を引き起こす可能性もあります。何か対策を考えていらっしゃいますか。</p> <p>場所は確かに駅前ということと、交通量が非常に多いところ、また角地ということもございまして、そういった安全面、あるいは車に対する対応等につきましては、安全な保育を実施できるよう、引き続き保育事業者とも協議を重ねて対応していきたいと考えております。</p>
会長	<p>他にご質問はありますか。よろしいでしょうか。</p> <p>では、議題（３）について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、議題（３）待機児童緊急対策アクションプランの進捗状況報告について説明します（資料をもとに説明）。</p>
会長	<p>事務局から説明が終わりましたので、何かご質問等ございますか。</p>
委員	<p>２ページの保育施設等への優先入所について、ある幼稚園が、預かり保育を充実するために子育て中の先生を呼ぼうとして、そのお子さんを保育園に預けたくても預けられないという問題が生じております。保育園だけでなく幼稚園の先生方も保育をしていますので、保育士の次でもいいですから、優先入所をお願いします。先生が集まらないために、50人を預かるところが30人しか預かれなければ、20人が待機児童になってしまい、そうするとどこかの保育園に行かなければならなくなります。幼稚園教諭も保育士の免許を持っていますので、第二優先枠のようなものも考えていただけるとありがたいです。</p>
事務局	<p>限られた保育施設の枠という中で、保育士を優先するだけでも多くの市民の方々から意見がありましたので、総合的に勘案しながら、検討してまいります。</p>
会長	<p>他にご質問はありますか。よろしいでしょうか。</p> <p>では、その他について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、その他について説明します（資料をもとに説明）。</p>
会長	<p>それでは、次回の会議の日程についての確認と、他に事務局からあればお願いします。</p>

事務局	<p>10月1日からは新たな任期となるところでございますが、今後の予定につきまして、今年度はあと2回を予定しております。第4回につきましては11月14日の午後2時からを予定しております。</p> <p>第5回につきましては、令和2年2月18日の午後2時からを予定しております。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>以上をもちまして本日の議事を終了します。</p> <p>それでは、進行を事務局に返します。</p>
事務局	<p>【閉会】</p>
副会長	<p>～副会長あいさつ～</p>
事務局	<p>会議録につきましては、市ホームページにて公開させていただきます。</p> <p>以上をもちまして、令和元年度第3回戸田市児童福祉審議会を終了いたします。</p>